

地方議会総合研究所

介護現場の今後と対応セミナー 参加報告書

開催日 令和3年11月1日

講師 淑徳大学コミュニティ政策学部長 鏡 諭教授

報告者

石狩市議会議員 改革市民会議 上村 賢

厚生労働省の調査報告によると、2025年には介護人材は37.7万人不足、2035年には79万人不足するとの予測報告がなされている。このような報告が問題視されてから時間が経過しているが、課題解決に向け政府は一向に手を打てていない。また、この予測は現在の需給状況が続けばと言う前提で、本当はその倍程度の人材不足するとの声もきこえている。

では現在の状況下で人材がなぜ不足しているのか？このことをしっかりと考え、課題解決に向けて取り組みを行なって行かなければならない。特に大きな課題として、介護職の給与の低さと相次ぐ介護報酬の引き下げに人材不足の課題が挙げられる。厚生労働省の平成30年度の賃金構造基本統計調査によると、ホームヘルパーの平均年収は333万となっている。また、平均年齢も46.8歳、勤続年数も7.5年と言う課題も出てきている。このような状況の中で、今後石狩市における介護施設での課題と向き合うために鏡論教授のセミナーへ参加を行った。

2000年にスタートした介護保険は、3年ごとに介護保険事業計画を作り3年間の給付と負担を設計する。これまでサービスを行う事業者は、常に厳しい運営を強いられ、スタートした当初から介護現場で働く職員の給与は、全ての職種最低レベルと言われている。その影響は若い世代に影響が出ている。将来社会福祉士を目指す、福祉系大学や専門学校において定員割れが起きている。特に専門学校は定員充足率が50%に満たない学校も出てきている状況と言われている。若い世代が職を目指さない、目指せない原因はきつい、汚い、そして給料が安い3Kの職種と言う定着がすでにされている。また、多くの学校はすでに入管法の改正により外国人留学生の社会福祉士養成に動き出している。しかし、原制度に置いて国家資格をとれなければ、外国人労働者(技能実習生)は労働力の一時的補填作であって、恒常的な対策にはならない。はたして誰がこれからの高齢化社会の介護をおこなって行くのか、どの様にしたら介護人材が獲得できるのか真剣に対策を講じないと大変なことになってしまう。その為にも、自治体として出来る取り組みの検討が必要である。

#### 石狩市の介護人材確保に向けての取り組み

- ・福祉施設人材確保事業
- ・外国人技能実習促進事業

厚田区・浜益区の介護保険サービス事業者が新たに雇用する従業員の確保等に要する経費の一部を助成。

北部地区の介護保険サービス事業者が新たに雇用する外国人技能実習生の受け入れ等に要する経費の一部を助成。

このような取り組みを過疎地域にて行う取り組みが進められているが、石狩市全体の対策にはなっていないと考える。特にこの2年間は新型コロナウイルスの感染による、介護現場の働き方に大きな課題がウエートを占めている。また、第6波以降家庭内感染が広まり、ス

スタッフの濃厚接触者の人数が増え、スタッフの休業が余儀なくされている。今後も、新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと考え、スタッフの確保を出来る取り組みも考えなくてはならない。その為にも、国がしっかりと介護施設に対して確実な人員の確保が出来る仕組みを構築させ、自治体はその仕組みをフォローして行く仕組みづくりが急がれるとおもふ。さらに、各自治体が地域の事情をしっかりと把握して独自の取り組みも考えなければならぬと思う。人材の確保へ向け人材への投資を行うことも必要と思える。その為にも、石狩市として介護福祉士資格者等、資格者育成に対してもフォローすべきと考える。

## 改革市民会議会派視察旅行行程表

	日付	時刻	スケジュール	備考
1日目	12月21日 (火曜日)	5:30	石狩出発	※1
		<del>7:50</del>	<del>千歳発 JAL500 9:30 羽田着</del>	
		<del>10:15</del>	<del>羽田発 JAL909 13:15 那覇着</del>	
		<del>15:00</del>	<del>那覇港管理組合 2階大会議室 (概要説明 20分)</del>	
		<del>15:45</del>	<del>那覇港総合物流センター 視察 (45分)</del>	
		17:30	ホテル到着 (那覇市)	
2日目	12月22日 (水曜日)	8:45	ホテル出発	
		10:00	恩納村役場 表敬訪問 (30分)	
		11:00	恩納村文化情報センター 視察 (60分)	
		14:00	あまわりパーク 視察	
		17:30	ホテル到着 (那覇市)	
3日目	12月23日 (木曜日)	10:00	ホテル出発	
		11:35	那覇発 JAL904 13:45 羽田着	
		14:30	羽田発 JAL519 16:00 千歳着	
		18:00	石狩着	

※1 初日の予定では、那覇空港到着後に多少時間があるため、15時から空港に近い那覇港管理組合で、貨物量増大への取り組みを視察する予定だった。しかし、出発前夜の大雪による高速道路の除雪作業のため、新千歳空港へは、出発時刻の20分前までに到着できず、次便での案内となった。さらに、羽田空港での乗換後、搭乗した那覇行きの便も遅れ、那覇港へ辿り着いたのは16時30分となってしまい、視察は中止せざるを得なかった。

# 行政視察報告書

- 1 出張用務 先進地視察
- 2 出張地 沖縄県恩納村、うるま市
- 3 出張期間 令和3年12月21日（火）～12月23日（木）
- 4 参加者 改革市民会議 6名

## 5 視察先

(1) 恩納村（人口 11,099人(R3.11) 市域面積 50.83km）

### ① 恩納村文化情報センターについて

#### 【調査項目】

- 1) 文化情報センターの利用状況および施設の内容について

#### 【内容】

平成27年の開館当初から68,000人の入館者があり、その後も新型コロナウイルスの感染流行まで、毎年約80,000人もの入館者があった。住民にとって長く待ち望んだ図書館であるが、開館当初から住民以外の利用者も多い。恩納村は、万座毛などの観光スポットも多く、県内屈指の観光・リゾートのまちである。その観光情報も提供する複合施設として整備したことで、利用実績も高い。一方で、住民にも意識は向けられており、夜間利用の要望に応え、ナイトシネマや星空観察会などのイベントも実施されていた。

センターの2階が図書館機能としてのフロアで、郷土書コーナーを有するほか、海を眺めながら読書ができるリーディングカウンターがあった。1階は観光情報フロアとなっており、お気に入りの観光情報を集め、自分だけのマイマップを作ることができるフィールドナビ等がある。視察当日は雨で残念な空模様ではあったが、3階は展望室となっていた。

#### 【所感】

図書館建設にあたり、観光を明確にターゲットिंगし開設したことで、高い利用実績に結びつけることができていると感じた。文化情報センター周辺には、博物館とおんなの駅なかゆくい市場があり、それぞれの施設を徒歩で行き来できる立地となっている。文化情報センターの裏は海であるが、海を眺めた読書だけでなく、潮だまりがありフィールドワークもできる。図書館は国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とするが、博物館も国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。それぞれが各自で事業を進めるのではなく、恩納村では、図書館と博物館が連携し、人を呼び込む仕掛け(イベント)を展開していた。石狩市も含め多くの都市でも予算措置の少ない社会教育事業に対し、今後の効果的であるべき方向を指し示しているように感じられた。

(2) うるま市（人口 125,689 人(R3.11) 市域面積 87.01km)

① あまわりパーク歴史文化施設について

【調査項目】

1) あまわりパーク歴史文化施設の展示内容・方法について

【内 容】

2000 年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の 1 つとして勝連城跡が世界遺産に登録された。この世界遺産登録を機に、観光需要の高まりから勝連城跡の周辺も整備され、今回、歴史文化施設がオープンとなった。

当施設は勝連城跡に道路を挟んで目の前に建てられた歴史文化施設で、勝連城跡から発掘された出土品を展示するだけではなく、当時の勝連グスクの様子を再現した巨大ジオラマや大迫力の Live コンテンツ、映像コンテンツを堪能できるライブシアターも完備されていた。

【所 感】

文化遺産の展示方法に大変感心した施設だった。多くの文化施設では、出土品が貴重な財産として大事に展示され、学芸員がいないとその当時の背景もわからないまま終わってしまうことが多い中、勝連城にまつわる物語をライブパフォーマンスで伝えるコンテンツを用意するなど、この地域の文化的魅力を非常に感じさせる展示方法になっていると感じた。

地域内で歴史的な出土品が見つかり、それをテコに地域おこしができないかと考えがちだが、それを見学しに来る人は、出土品が貴重だから見学したいというのではなく、多くの方は、その当時の歴史的背景やその時代に生きた人物を感じてみたいからではないだろうか。

文化遺産の紹介が当時の出土品だけでなく、民衆に信頼が厚く海外貿易によって地域に繁栄をもたらした 10 代城主の阿麻和利に焦点を充てて、ライブパフォーマンスも交えた展示方法は、当時の人物像に大きな魅力を与え、その地域の文化遺産を一層強く感じてみたいと思わせる。文化遺産を観光と両立させて後世に伝える保存方法の 1 つであると感じられた。

※ 那覇港管理組合【視察中止】

初日の予定では、那覇空港到着後に多少時間があるため、15 時から空港に近い那覇港管理組合で、貨物量増大への取り組みを視察する予定だった。しかし、出発前夜の大雪による高速道路の除雪作業のため、新千歳空港へは、出発時刻の 20 分前までに到着できず、次便での案内となった。さらに、羽田空港での乗換後、搭乗した那覇行きの便も遅れ、那覇港へ辿り着いたのは 16 時 30 分となっしまい、視察は中止せざるを得なかった。